

# 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課  
担当課長名：桜田 昌之

事業名	びばいふらの 主要道道美唄富良野線		事業区分	地方道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：ほっかいどうびばい ひがしびばい ときわだい 北海道美唄市東美唄町常盤台 至：ほっかいどうあしべつ かみあしべつ 北海道芦別市上芦別町			延長	18.6 km	
事業概要	<p>美唄富良野線は、美唄市から富良野市へ至る延長約53kmの主要道道であり、このうち、美唄市東美唄町から芦別市上芦別町迄の約18.6kmが開発道路に指定され、事業を進めています。当該事業は、交通不能区間の解消による新たな交通ネットワークの構築、観光アクセスの向上、物流効率化の支援等に寄与する道路です。</p>					
S62年度事業化	H1年度都市計画決定		H元年度用地着手		H元年度工事着手	
全体事業費	約295億円		事業進捗率	42%	供用済延長	3.0km
計画交通量	2,200台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.0 (残事業) 2.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 143/288億円 (事業費：134/278億円 維持管理費：8.4/9.7億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 295/295億円 (走行時間短縮便益：235/235億円 走行経費減少便益：50/50億円 交通事故減少便益：9.9/9.9億円)	基準年 平成20年		
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C= 2.3 (交通量+10%) B/C= 1.9 (交通量-10%)          事業費変動：B/C= 1.9 (事業費+10%) B/C= 2.3 (事業費-10%)          事業期間変動：B/C= 2.0 (事業期間+1年) B/C= 2.1 (事業期間-1年)</p>					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土・地域のネットワークの構築（現道における交通不能区間を解消する）</li> <li>個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される）</li> <li>物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる）</li> </ul> <p>他1項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>道央地域の交通ネットワークは、道央地域の主要都市・空港・港湾などの人流・物流拠点のアクセスを確立し、交通機能を高めることは、観光・救急医療はもとより経済や文化を高め、暮らしやすさを確保して地域再生につながる重要な社会資本であることから、10市15町の首長で構成される北海道空知地方総合開発期成会より整備の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成10年に、国道452号芦別市～富良野市間における未供用区間15.9kmが開通。</li> <li>富良野市や美瑛町では、外国人観光客が急増。</li> </ul>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成元年度より工事着手し、用地進捗率60%、事業進捗率42%となっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代後半の事業完了を予定している。					
施設の構造や工法の変更等	トンネル掘削土の凍上抑制層への活用や、補強土壁工の採用によりコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p>再評価対象区間 L=18.6km</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。